



和と小こだだより

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)

弟子屈町立和琴小学校

12月24日 発行者 校長 渥美清孝

一年の計

校長 渥美清孝

12月のある朝、バスから降りた子どもたちが、玄関前の池のそばで、何か楽しそうに話をしていました。たまたま通りかかった私が、「どうしたの?」と尋ねると、「霜柱」と教えてくれました。霜柱を踏むあの足の裏の感覚を楽しみながら話をしていたようです。

私は、霜柱の小さな塊のひとつを手のひらに取り、一緒に詳しく見てみました。細い細い氷の柱が、子どもたちの嬉しそうな笑顔に負けないくらいキラキラと輝いていました。

屈斜路の地に本格的な冬が訪れました。例年よりも雪の量は少なめですが、朝晩の冷え込みは、実に北海道らしい厳しさです。

自然の美しさと厳しさに囲まれた子どもたちは、2学期も元気に学校生活を送りました。保護者の皆様の温かい支えに心から感謝しております。

さて、明日から子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。

冬休みと言えば、小さい頃に祖母が教えてくれた言葉を思い出します。

「一年の計は元旦にあり」

新しく迎える一年の計画は、その年の初めの元旦に立てるべきであるというような意味でしょうか。

元旦は、元日(1月1日)の朝のことです。旦の字は、太陽を表す「日」の部分と地平線や水平線を表す「一」の部分からなるからです。この言葉の意味から考えると、元日の朝一番で今年の目標や計画を確認してみるのもいいかも知れませんね。

「日本のドラッカー」と呼ばれた一倉定さんは、計画について、次のように言います。

「計画は“できるだけ主義”ではいけない。(中略) “これだけ主義”でなければならないのだ。」

“できるだけ主義”というのは「できるだけ頑張ろう」という意味で、“これだけ主義”というのは「これだけは絶対やる。達成する。」という意味です。

この言葉からは、計画を達成する覚悟と責任を感じます。会社の経営者向けの言葉ですから、全てを子どもに当てはめるのはよくないかも知れませんが、子どもたちが立てる計画に、“これだけ主義”の考え方を少し取り入れて、計画達成まで支えてあげるといった関わりも大人にとっては必要です。

学校では、各学級で、冬休みの生活に向けた目標や計画、学習の進め方や見通しなどを子どもたちと考えました。

それらの計画が子どもたちの達成感につながるよう、ご家庭でも応援をお願いいたします。

冬休みの楽しい生活と冬休みならではの学習を経験し、ひとまわり大きくなった子どもたちと3学期に会えるのを楽しみにしています。

よいお年をお迎えください。

<1月の行事> 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	土	元日 学校閉庁日		
2	日	学校閉庁日		
3	月	学校閉庁日		
4	火			
5	水			
6	木			
7	金			
8	土	ウィンタースポーツ教室(～9日)		
9	日	町成人式		
10	月	祝日 成人の日		
11	火			
12	水			
13	木			
14	金	安全点検日 自治会総会		
15	土	週休日		
16	日	週休日		
17	月	3学期始業式	14:20 15:20	○
18	火	二計測(1・2年) ALT	14:20 15:20	○
19	水	二計測(4年)	14:20	○
20	木	二計測(5・6年)	14:20 15:20	○
21	金	スケート授業(町リンク)クラブ7 ALT	14:20 15:20	○
22	土	週休日		×
23	日	週休日		×
24	月	スケート授業(町リンク)	14:20 15:20	○
25	火	スケート授業(町リンク) ALT	14:20 15:20	○
26	水		14:20	○
27	木		14:20 15:20	○
28	金	スケート授業(町リンク)	14:20 15:20	○
29	土	冬のふるさと体験学習 PTA親子レク		×
30	日			×
31	月	町へき2校冬のスポーツフェスティバル		○

<冬期間の安全確保について>

- ・道路、車に関わる危険
 - ・湖、川に関わる危険
 - ・雪、氷に関わる危険
 - ・お年玉などのお金に関わる危険
 - ・不審者、不審電話に関わる危険
- これらについて日頃から家庭内で話題にして、意識を高めていただきますようお願いいたします。

お知らせ

12月29日(水)から1月3日(月)までは学校閉庁日となります。学校は4日から通常通り開きます。閉庁日の期間に何かありましたら、下記まで連絡をお願いします。
弟子屈町教育委員会
015-482-2945

※昨今の状況から予定が変更になる場合がございます。ご了承ください。

12月の和っ子

<渡辺体験牧場でアイス作り>

12月9日(木)に5・6年生が渡辺体験牧場でアイス作りを行いました。この活動は、5・6年生が総合的な学習で進めている、ふるさと屈斜路や弟子屈のよさを調べ、発信する活動の一環として行いました。アイスに弟子屈産の素材が含まれたアイスになっているところが特長です。これからの活動の広がりが楽しみです。



<参観日・保護者面談>

12月10日(金)に参観日と保護者面談がありました。今回の参観授業は低学年と中学年が道徳の授業を高学年は算数の授業を行いました。道徳、算数どの授業でも子どもたちが真剣に考え、自分の考えを発表する姿が見られました。今回は学校運営協議委員会にも案内を出して、授業を見ていただくことができました。授業後は、保護者との面談を行い、1人1人の児童の2学期のがんばり等についてお話することができました。



<アイヌ文化体験教室>

12月11日(土)に今年も屈斜路古丹ウポポ会(代表 武田千鶴さん)にお越しいただき、アイヌ文化体験教室を行いました。今年はアイヌの料理体験を行いました。作った料理は、エハごはん、チェプオハウ、イモチョッケ、ポツチェイモです。エハごはんはエハ(やぶ豆)を入れた炊き込みご飯です。チェプオハウは鮭と野菜の汁物です。イモチョッケは、いもをゆでてつぶしたものにイクラを混ぜたものです。ポツチェイモは、冬の間に外で凍らせたいも(昔は畑で凍ったいも)をすりつぶして、でんぷんを混ぜて味付けし、焼いたものです。子どもたちは2グループに分かれて料理に取り組みました。料理を作りながらも、その途中で料理以外の生活の様子や、いもをゆでてい



る間にアイヌの踊りを教わるなど、大変有意義な時間になりました。最後はみんなで試食タイムでしたが、どの料理も自然を感じる味わいで大変おいしかったです。講師の武田さん、後藤さん、戸塚さん、堂山さん、社会教育の片岡さん、牧原さん、ご指導、ご協力、ありがとうございました。



<表現同好会~ほうかご表現くらぶ>

11月30日、12月7日、14日の放課後にPTA活動の一環として、美留和在住の藤原俊和さんを講師にお招きし、表現同好会を行いました。参加したのは児童と教職員です。藤原さんとの活動では、頭(脳)と体と心で人は脳でいろいろなことを判断することが多いのですが、心で本を読むと(音読)どうなるのか、音楽の曲想に合わせて本を読むとどうなるのか、実際にやってみて、そのときの感覚をフィードバックしました。また、このような活動は本人がやりたくないときはパスもできるなど、参加者のやってみたい、感じてみたいという思いを重視して行われていました。参加者は、安心して表現できるこの活動を心から楽しんでいました。講師の藤原俊和さん、ありがとうございました。



<いじめアンケートの結果>

先月、今年度2回目のいじめアンケートを行いました。結果は以下の通りです。これからも児童1人1人の様子をしっかりと観る、話をしっかりと聴くことを全教職員が努めてまいります。

4月から今までいやな思いをした(仲間はずれ、無視 たたかれたり、けられたり等して)	0人
友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりした	0人
いやな思いをしたときだれに相談するか	先生 父や母 友人 兄弟

和琴小ホームページ <http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>

和琴小学校の取り組みや児童の活躍等を随時紹介していきます。ご一読のほど、よろしくお願いいたします。

